

親しき仲にも礼儀ありですね

昭和の時代は、隣に面した窓に人影が映っても気にしない方が多かったかと思います。でも今は平成。プライバシーの考え方もずいぶん変わりました。特に台所など、そこに居る時間の多い窓とかは、お互いに配慮する場合が常識となってきました。今回もそんな理由から隣屋が空き家になった際、庭に目隠しをさりげなくつける状況の現場でした。ただ、先方に気配りをしたルーバー型の目隠しに



付ける前の状態です。

して、通気性を確保してあげたいとのお客さんからのご希望でした。いまは、親しき仲にも礼儀ありの時代。でもその事が近隣と仲良く生活する大切な気持ちの表れなんだと感じた現場でした。



完成後の目隠しです。余り大きくなく、ルーバータイプです。

発行：意外と思う事でも私たちは出来ます。（有）渡辺賢工務店